

単元名（教材名）

わたしたちの奈良県「奈良県のように」（日本文教出版『奈良県のくらし』）

本時の目標

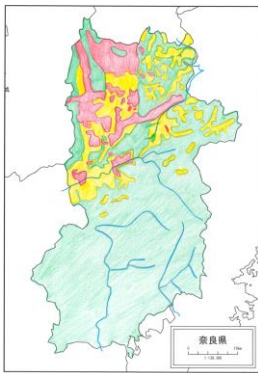
特色ある地域の位置や交通の広がり等に着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考へて表現することができる。 [(5)イ(ア)]

読解力向上プランVer. 2における指導のポイント

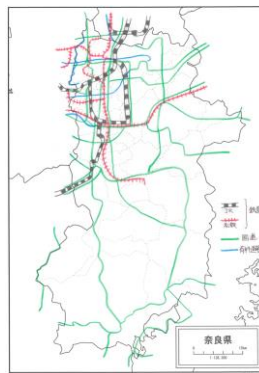
⑨図や表、グラフを活用して、文章等にまとめさせる。

	学習活動	指導上の工夫
導入	○奈良県の「市町村の位置」「地形のようす」「土地利用のようす」の資料からそれぞれ分かることを確認し、授業の見通しをもつ。	
展開	○奈良県の交通の広がりや、市町村別人口にどのような特徴があるか予想する。 ☆資料から読み取ったことを基に、奈良県の特徴をまとめる。	・奈良県の「土地利用のようす」や「交通の広がり」、「市町村別人口」の資料を組み合わせ、奈良県の特徴について予想を立てさせる。また、予想した内容について資料を関係付けながら確認させる。 ・位置や空間的な広がりに着目し、方角等を具体的に示しながら奈良県の特徴についてまとめる。
まとめ	○奈良県の特徴をまとめるときに、資料を活用し、位置や空間的な広がりに着目して具体的にまとめることができたかを確認し、振り返りをする。	

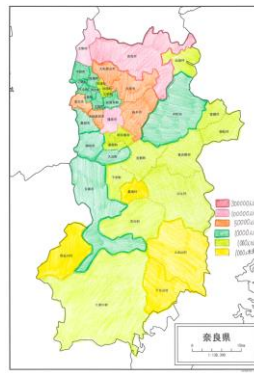
☆板書例☆ 《めあて》 奈良県の特ちょうをまとめよう。



奈良県の土地利用のようす



奈良県の交通の広がり



奈良県の市町村別人口



方角を用いて説明できるように掲示しておく。

☆対話例☆

- C1: 人口の多い北西部は、道路や鉄道が走っていて便利そう。
- C2: 南部は交通の広がりはいくつか少ないけど、その分自然がたくさんあるな。

◇実践のポイント◇

小学校社会科で養う「表現力」とは、考へたことや選り・判断したことを説明する力や、考へたことや選り・判断したことを基に議論する力などです。説明する力や議論する力を身に付けるためには、「調べたことや理解したことを表現する力」を併せて育成することも大切です。

グループ発表の際、話し手には、資料のどこに注目したのかを方角や地名を用いて説明させることで資料を読み取る力の向上に繋げることができます。聞き手は、話し手が説明する内容の根拠が資料のどこに示されているのかを確認しながら聞くことが大切です。

◇活用できる教材例◇

資料を活用する学習活動は、地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野の様々な学習において活用できます。活用する資料については、適切な資料を精選することが大切です。